

国際ロータリー 長期計画 2007-2010 年

使命とビジョン

ロータリー・クラブの世界的連合体である国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することである。

国際ロータリーのビジョンは、世界理解、親善、平和を推進するための「超我の奉仕」に対するその献身があまりに広く認知されることである。

中核となる価値観

ロータリーの中核となる価値観は、組織内においてロータリアンが何を優先させ、どのような行動を取るかという指針を含めた、組織文化の指導原理を表すものである。これらの価値観は、ロータリーの長期計画において、ますます重要性を増している構成要素である。こうした価値観は、当組織のリーダーシップの意図と方向性を示す原動力となるものである。

奉仕

ロータリーの奉仕活動とプログラムは、さらなる世界理解と平和をもたらすものであると、私たちは信じている。奉仕は、私たちの使命の主要な要素である。私たちは、個々のクラブの計画と行動を通じて、奉仕する者に無類の喜びを与え、組織全体に奉仕の文化を創造しているのである。

親睦活動

個人による奉仕活動は個々のニーズに焦点を当てるものであるが、協力して行う奉仕活動は人類に奉仕するものであると、私たちは信じている。力を合わせて活動すれば、その力は無限となり、多くのリソース(資源)をもたらす、私たちの人生を豊かにし、視野を広げるものとなる。親睦は、民族や国家といったさまざまな違いを超越し、寛容の精神へと導くものである。

多様性

ロータリーは奉仕の理想の下にすべての人々を国際的に結束させると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また活動や奉仕において、職業の多様性を信じている。事業や専門職務の社会を反映させているクラブが、将来の繁栄の鍵を握るクラブである。

高潔性

私たちは、活動の結果について、また、目標達成の過程においても、私たちのリーダーや同僚会員が説明責任を果たすことを約束し、期待している。私たちは、仕事においても人間関係においても、倫理と職業の観点から、常に高い基準を固く守っている。私たちは、公平さと尊敬の念を保ちながら人々と付き合い、また、私たちに託されたリソース(資源)を良心的に管理する。

リーダーシップ

私たちは、それぞれの活動分野におけるリーダーから成る世界的な集まりである。私たちは、指導力を伸展させることの重要性、および会員の優れた資質としてのリーダーシップを信じている。ロータリアンである私たちは、これらの中核となる価値観を率先して実行していくリーダーである。

これらの中核となる価値観はすべて、私たちが日常使用している「ロータリーの綱領」と「四つのテスト」に反映されています。これらの価値観は、人間関係における高い倫理基準を定め、維持していくため、奉仕の理想を培い、支持するよう、私たちに鼓舞・激励するものです。

2007年6月/7月、理事会が承認

国際ロータリー 長期計画 2007-10年

優先項目と目標

長期計画には7つの優先項目が含まれており、各項目にはそれぞれ目標が定められています。この優先項目を決定するにあたり、RIは、世界中の草の根のロータリアンとシニアリーダーを対象に調査を行い、今後のロータリーにとって最も重要であると思われる事柄について回答してもらいました。

ポリオを撲滅する	<ul style="list-style-type: none"> a) インターナショナル・ポリオ・プラス委員会の計画と目標を支持する。 b) ポリオ・プラス・パートナーへのロータリアンの参加の維持・拡大を図る。 c) ポリオ撲滅という究極の目標に向けた他団体との協力関係を今後も重視して活動する。
ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める	<ul style="list-style-type: none"> a) 国際ロータリーとそのプログラムについて世界的に認識を深めるために、公共情報キャンペーンを組織の内外で実施する。 b) あらゆるレベルにおいて、ロータリーの取り組みとその活動成果を率先して世界に語り伝える。
他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る	<ul style="list-style-type: none"> a) 奉仕の機会を広げる方法として「四大奉仕部門」を強調する。 b) 援助を必要とするクラブの改善を支援することに特別な強調を置く。 c) 現在の研修に革新的なアイディアを取り入れて、さらに充実させる。- d) ロータリーの使命を高めるため、その高潔さを保ちながら、あらゆるレベルで長期的な協同関係を拡大する。- e) すべての活動分野においてロータリーの効率と有効性を高めるよう努める。
質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する	<ul style="list-style-type: none"> a) 最良の方法(ベストプラクティス)に基づいて会員組織の増強と拡大を図るために、クラブレベルの責任を強化する包括的計画を立案し、実施する。 b) 見込みのある適切なすべての地域にロータリーを拡大する。 c) 若い会員や新しく現れた職業や職業分野の会員を増やす。 d) ロータリーの世界を通じてロータリー家族を強調し、さらに充実させる。
ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する	<ul style="list-style-type: none"> a) 事業や職業団体に加わり、倫理的な意思決定に影響を与え、指導的な役割を果たすよう奨励する。 b) ロータリアンの専門的知識と経験を十分に生かし、他者、特に職のない人々の職業技能を開発する新たな方法を見つける。 c) 専門的職業能力の開発を奨励するために、学習や情報交換を行うための職業フォーラムの企画にさらに力を入れる。
国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する	<ul style="list-style-type: none"> a) ロータリアンの才能や技能を余すところなく駆使し、あらゆるレベルにおいて指導力を養成する機会を拡大する。 b) 青少年や若者の指導力を養成する機会を開拓する。 c) 最良の方法(ベストプラクティス)が確実に実行されるよう、管理手順の査定を定期的に行う。
組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する	<ul style="list-style-type: none"> a) ロータリアンのニーズと期待に合わせるため、RI長期計画を3年毎に見直し、最新のものにする。 b) ロータリーの長期計画が、ロータリー財団の未来の夢計画ならびに事務局の管理と調和するものとなるようにする。 c) 地区やクラブを含め、当組織全体にRI長期計画を普及し、また、会員が意見を述べる機会を提供する。 d) クラブと地区のために長期計画立案のモデルを作成し、これを実施する。

RI長期計画の最優先項目はポリオの撲滅であり、本計画のほかの優先項目は、総合するとポリオ撲滅と等しい重要性を持ちます。

2007年6月/7月、理事会が承認

国際ロータリー 長期計画 2007-10年

これらの優先項目が選ばれた理由

本計画の優先項目を決めるにあたり、RI 理事会は、ロータリアン、シニアリーダー、長期計画委員会からの意見、2007年規定審議会の決定、歴史的、文化的要因をあわせて考慮しました。

ポリオ撲滅は、2007年規定審議会により、ロータリーの最優先事項として再確認されました。予防接種を実施し、この悲惨な病からすべての子供たちを守ることが、ポリオのない世界を築くという目標に達するまで、引き続き組織全体の重要な取り組みとなります。

認知と公共イメージは、アンケート調査に参加した大半のロータリアンが、組織の優先事項の一つとして挙げた項目です。理事会は、一般の人々が抱くロータリーのイメージは確かに草の根の奉仕活動によるところが大きいと考え、クラブと地区が自分たちの善行に関して広く伝えることができるよう、広報補助金の提供を継続することにしました。

奉仕は、ロータリーの真髄です。ロータリーの奉仕を支援する上で重要な役割を担うロータリー財団は、ロータリーの奉仕がもたらす恩恵を世界中に知らせ、その成果を測定する新しいモデルを開発しています。RI 長期計画とロータリー財団未来の夢計画はともに、クラブと地区の奉仕の成果を高め、推進することです。

会員組織の拡大は、ロータリーと全クラブにとって重要な優先事項です。理事会は、新しい才能や意欲をクラブにもたらしてくれる資格を備えた会員候補をあらゆる属性のグループから探し出し、ロータリーを分かちあうよう、会員を奨励しています。

職業奉仕は、ロータリーの会員だけが有する独特の要素です。ロータリアンは一般に職業のリーダーとして認められているため、倫理的な意思決定に影響を与えることが可能です。理事会はこれを踏まえて、学生や失業者やその他職を探している人々が職業的な技能を身につけられるよう、会員が自らの専門知識や技能を用いて貢献することを奨励しています。

指導的才能は、ロータリーに豊富に存在しています。こうしたあらゆる才能を余すところなく駆使するために、とりわけ若い指導者を対象に、クラブ、地区、国際の全レベルで活躍し、確固とした将来を築くことができる機会を積極的に増やすよう、理事会はクラブと地区を奨励します。

長期計画はクラブと地区にどのような影響を与えるか

組織全体を通じて計画することによって、地元地域はもとより国際的にも成功の可能性が大いに高まるという理由から、理事会は、長期的な視野に立って物事を考えるよう、すべてのロータリアン、クラブ、地区に奨励しています。クラブと地区が独自の計画を立てる際に、RI 長期計画の優先項目を土台として、各々の規模や会員の技能、奉仕を提供する地元地域のニーズに応じて修正して用いることができます。クラブと地区は、まず、以下の問いを会員に投げかけてみることから、長期的な計画立案のプロセスを開始するとよいでしょう。

- 自分たちの現在の状況はどのようなものか。この問いに答えることによって、クラブは目的（または使命）やクラブの長所と短所を知ることができ、また、どのような機会と脅威（競争上、有利な点と不利な点）が存在するかを特定することができます。
- 自分たちはどのようにになりたいのか。この質問は、クラブの期待事項やビジョン、長期的な計画を引き出すものです。
- どのような方法で目標を達成できるか。この質問の答えは、クラブが使命とビジョンとのギャップについて考え、ビジョンを達成させるための具体的な目標や方策や行動計画を決める上で役立ちます。